

事業者間の「競争」から「共創」へ ～持続可能な交通ネットワークの構築に向けた九州MaaSの取り組み～

日時：11月18日(火) 16:50-18:35 (5限)

国際学術総合研究棟4階SMBCアカデミアホール（対面授業にて開催）



トヨタファイナンシャルサービス(株)
モビリティサービス
グループ室長 /
トヨタ自動車(株)新
事業企画部主幹
間嶋 宏 氏



西日本鉄道(株)
自動車事業本部
未来モビリティ部
モビリティサービス
担当課長
古賀 勇貴氏



(一社)九州経済連
合会地域共創部
担当部長
(一社)九州MaaS
協議会業務執行
理事・事務局長
木下 貴友氏

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、トヨタファイナンシャルサービス(株) モビリティサービスグループ室長 兼 トヨタ自動車(株) 新事業企画部主幹 間嶋 宏 氏、西日本鉄道(株)自動車事業本部未来モビリティ部モビリティサービス担当課長 古賀 勇貴氏、(一社)九州経済連合会地域共創部担当部長、(一社)九州MaaS協議会業務執行理事・事務局長 木下貴友氏からお話を伺います。

トヨタ、西鉄、JR九州の3社は、交通及び店舗・イベント情報のサービサー各社と協力し、2019年よりマルチモーダルモビリティサービス「my route(マイルート)」を福岡市・北九州市等で展開しています。トヨタは、モビリティカンパニーを目指す取り組みの一環として「my route」の開発を行っており、西鉄及びJR九州は、「my route」を活用したMaaSの推進、AIオンデマンド交通の展開、乗りつぎ利便性の向上などの取り組みを行っています。

2025年4月には、官民連携・広域では我が国最大規模のMaaS実行組織となる一般社団法人九州MaaS協議会が設立され、110を超える官民の団体・企業が参画し、利便性が高く持続可能な交通ネットワークの構築に向けた様々な取り組みを推進しています。

本講では、長年競争関係にあった西鉄とJR九州が、少子高齢化による需要減少、労働力の不足、新型コロナウイルスの影響などの逆境下で「競争から共創」に転換し、全くの異業種であるトヨタと連携した取り組みを進め、更に九州広域・官民共創でのMaaSの取り組みへと拡大・深度化した経緯やその背景について考察します。

※履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎いたします（使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加出来ません。）。

－問い合わせ： 交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp－